

校長挨拶

『夢・可能性・生きぬく力』

～開校150周年（2028）と子どもたちが輝く未来に向けて～

京都府立聾学校のホームページにお越しいただき、ありがとうございます。

本校は、明治11年（1878）年に京都盲啞院として創設し、今年度で147年目を迎えました。古河太四郎先生をはじめとして、先人たちの知恵と工夫で生み出された言語教育や、「教育は恕（じょ）の一字にあり」（恕とは思いやり）の言葉に込められた教育の精神は、今日もなお教育に関わる者として大切にしたい想いと考えます。

本校では、「子どもたちが将来、人と社会とつながりながら幸せに人生を歩む。」を未来の子どもたちの姿とし、そのために必要な力をはぐくむことを目標としています。未来の社会がいかに変化しても、人は人と向き合い、社会とつながりながら、自ら考え、伝え、行動すること、そして「幸せ」を感じることで自らの可能性を大きく広げると考えます。

教育目標「夢・可能性・生きぬく力」は、子どもたちの夢・願いを実現し、子どもたちの内に秘めた可能性を引き出し自分の強みとして、これからの多様で変化の激しい社会の中において、自分の軸（価値観や生き方の基礎となる考え方）をもち、生きぬくことを表しています。「想像すること」「創造すること」を通して学びを追求し、基礎となる力を子どもたち一人一人が習得できるよう、教育活動の充実に取り組んで参りたいと考えます。

また、京都府に在住の間こえが気になる乳幼児に対する相談をはじめ、聴覚障害のある幼児、児童、生徒に対する教育相談、授業や研修会への講師派遣など、聴覚に障害のある子どもたちに対する相談、支援を行う教育機関として、その使命を果たして参りたいと考えます。

どうぞよろしく願いいたします。

令和6年4月

京都府立聾学校 第26代校長 竹本明史